

平成26年度 第2回湖西市ごみ減量市民会議 会議録

開催日時 平成26年9月8日（月）14：00～16：00

開催場所 湖西市環境センター2階 会議室

出席委員 平井一之委員、山口健委員、雨宮順介委員、田中明彦委員、高部一行委員、大谷勇委員、志水哲夫委員、稲垣峰代志委員、西川哲夫委員、近藤旭委員、大久保宏子委員、山下美恵子委員、豊田千佳委員、田内清之委員、牧野和子委員、杉浦徹衛委員、田代ルリ委員 17名

欠席委員 高柳達弥委員

事務局 渡辺環境部長、佐原ごみ減量課長、守田ごみ減量課長代理兼減量係長
河合減量係主任

会議資料

湖西市の廃棄物処理経費の状況	（資料1）
家庭系ごみと資源物の地区別の状況	（資料2）
浜松市への可燃ごみの搬入量と処理委託額の状況	（資料3）
使用済小型家電リサイクル拠点回収事業概要	（資料4）
古紙・古布回収拠点の状況	（資料5）
古紙回収ステーション別の状況	（資料6）
雑がみ回収袋の作り方	（資料7）
ごみステーション等に係る自治会交付金について	（資料8）
生ごみ減量の推進状況	（資料9）
生ごみ処理機と生ごみ減量の状況	（資料10）
ベランダでキエーロの作製方法	（資料11）

内容

1 開会

2 会長あいさつ

改めまして、ご苦労さまです。今日は、月曜日の午後ということで、ご用事がある中で、わざわざ、お出かけいただきまして、お礼申し上げたいと思います。

本当にありがとうございます。実は、今日、午前中、静岡県都市環境保全行政研究会主催で、県内の環境行政につかさどっている方が湖西市のヴィラ・ハマナコに来て、朝から研修会をやっています。約1時間ちょっとお話をさせていただきました。午後、企業視察をされているんですが、やはり、県内の各市町で抱えているごみの問題等について、それぞれの立場の中で皆さん、ご苦労されていることを聞いてきました。

ごみの清掃センターが老朽化して困っている場合や、なかなかごみの分別の意識が市民に皆さま方に徹底しなくて困っているとか、いろいろあります。湖西市のごみの処理は、浜松市に物理的にお願いをしているのですが、当然、浜松市にお金を払っているわけです。当然、負担があるわけです。従ってごみ減量が求められます。そういうことで、今回、湖西市のごみ減量市民会議を立ち上げていただいて、1回目を6月30日に開催しました。早いもので、ちょうど、2ヶ月が経ちまして、2回目ということになります。ご記憶いただいていると思いますが、1回目の湖西市のごみ減量市民会議の場で、皆様、それぞれ、どのような事を市民会議でやるということをご理解いただけましたと思いますので、いろいろなご意見を積極的に伺いますのでよろしくお願いをさせていただきます。今日は、非常に有意義で楽しくなるようなご意見を聞かせていただけるんじゃないかと、また、私も楽しみにしておりますので、この会が有意義になるために、それぞれのお立ち場の中で、ご発言していただくことをお願いいたしまして、開会にあたってのあいさつに代えさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。

3 湖西市の状況

(湖西市の状況について事務局から説明)

湖西市の廃棄物処理経費の状況	(資料1)
家庭系ごみと資源物の地区別の状況	(資料2)
浜松市への可燃ごみの搬入量と処理委託額の状況	(資料3)
使用済小型家電リサイクル拠点回収事業概要	(資料4)
古紙・古布回収拠点の状況	(資料5)
古紙回収ステーション別の状況	(資料6)
雑がみ回収袋の作り方	(資料7)

○湖西市の廃棄物処理経費の状況 (資料1)

湖西市の廃棄物処理にかかる年度別の状況であり、ごみ減量課の収入支出

である。

収入は、環境センターへのごみ搬入手数料、指定ごみ袋の販売手数料、金属・ペットボトル・古紙・古布等の売却代金で、平成25年度は、106,045,000円の収入となっている。

支出は、人件費は市職員の分であり、平成23年度と平成24年度は、12人分であり、平成25年度は、10人分であり、75,502千円になる。

最終処分場関係は、湖西市内に2箇所ある廃棄物処分場の維持管理運営を行った費用であり、搬入・搬出の受付、廃棄物の埋め立て、車両の維持管理経費と、処分場にある水処理施設の運転維持管理、水質検査等の経費である。平成25年度の場合は、78,630千円の支出があった。

廃棄物対策費は、施設の維持管理ではなく、細かいソフト的な事業が多く、廃棄物の収集、運搬及び分別・減量・資源化の対策費である。

主なものとしては、ごみステーションや資源物回収拠点に排出されたごみや資源の収集運搬の委託費、浜松市へ可燃ごみの焼却を委託する経費、分別やリサイクル等の事業に要する経費で、プラマーク品選別業務、PTAが実施している集団回収に対して支払うリサイクル活動交付金、指定ごみ袋作製費等である。平成25年度の場合は、664,155千円の支出があった。

環境センター関係は、環境センターの運転維持管理の費用であり、環境センター運転管理業務を民間への委託費、設備機器等の維持管理費、重機車両の維持管理費等である。平成25年度の場合は、275,282千円の支出があった。

支出から収入を引き、年度比較をすると、平成24年度は、前年度と比べて24,829千円のマイナス、平成25年度は、24年度を比べると、73,239千円のマイナスになっており、少しずつですが、経費を節約している状況になっている。

○家庭系ごみと資源物の地区別の状況（資料2）

平成25年度の家庭系ごみと家庭系の資源物の地区別の状況である。

湖西地区は、可燃ごみは、A地区とB地区に分けており、A地区は、火曜日と金曜日に回収して、新所、大森、岡崎、入出、梅田、新所原、上の原、南上の原、神座、太田、青平、大知波、利木、横山、白須賀第4自治会の一部がA地区になっている。

B地区は、月曜日と木曜日に回収して、表鷺津、鷺津、河美、古見、川尻、市場、山口、坊瀬、白須賀第4自治会の一部を除いた白須賀地区である。

表の中の可燃ごみを見ると、一人あたりの平成25年度排出量は、A地区は147kg、B地区は153kg、新居地区は150kgとなっている。

一人あたりの平成25年度経費を見ると、A地区は、3,014円、B地区は、

3,138 円、新居地区は 3,071 円となっている。湖西市全体では、188,252 千円の処理費用がかかっている。

可燃ごみの中の生ごみについて見ると、生ごみ量の正確な数字はわからないため、各地区で、ごみステーションから可燃ごみを持って来て、中身を 1 つ 1 つ分別して、種類ごとに重さを測っている。平成25年度の結果をみると、A地区は、可燃ごみの重さの内 51% が生ごみになる。B地区は、47.3%、新居地区は、44.2% になる。

このパーセントを掛けると、生ごみの一人当たりの平成25年度排出量は、A地区は75kg、B地区は72kg、新居地区は66kgになる。

生ごみの一人あたりの25年度経費を見ると、A地区は、1,537 円、B地区は、1,485 円、新居地区は 1,357 円となっている。

湖西市全体では、生ごみに関する費用としては、89,954千円の処理費用がかかっている。

次に、不燃ごみは、湖西地区と新居地区の排出量のみ分かり、収支はわからない。湖西地区は、約 766 トン、新居地区は、約 140 トンが排出されている。

続いて、剪定枝・竹・草は、湖西地区の排出量は、約 422 トン、新居地区の排出量は、約 223 トンである。

収入は、民間に売却し、239,868 円の収入があった。

支出は、民間業者へ依頼している資源化処理費が、11,993,733円、同じく民間に委託している草木破袋選別作業業務費で袋に入っているため破る作業であり、10,983,000円である。

収支は、22,736,865円のマイナスになっている。

続いて、ペットボトルは、湖西地区の排出量は、約 159 トン、新居地区の排出量は、約38トンである。

収入は、容器包装リサイクル協会からの拠出金が、6,423,845 円、支出はあるが、環境センター内で分別作業を実施しているが、計算できないため含まれていない。

容器包装リサイクル協会は、国の指定を受けて、容器包装リサイクル法の施行に伴い、ガラスびん、ペットボトル、紙、プラスチック製容器包装の再商品化業務をしている。現在は、公益社団法人となっている。

続いて、飲料水缶は、湖西地区の排出量は、約 105 トン、新居地区の排出量は、約26トンである。

収入は、民間に売却して、9,987,000 円の収入があった。支出はあるが、環境センター内で分別作業を実施する経費は計算できないため含まれていない。

続いて、プラスチック製容器包装であるプラマーク品は、湖西地区の排出量は、

約 345 トン、新居地区の排出量は、約 141 トンである。

収入は、容器包装リサイクル協会からの拠出金は、196,927 円の収入があった。支出は、容器包装リサイクル協会への再商品化業務委託費が、186,096 円、環境センター内で民間業者が分別処理業務をしており、24,617,250 円の経費がかかっている。収支は、24,606,419 円のマイナスである。

続いて、ガラスびんは、湖西地区の排出量は、約 262 トン、新居地区の排出量は、約 100 トンである。

収入は、容器包装リサイクル協会に出しているその他びんが 8,639 円、民間に売却している透明びんと茶色びんが、湖西市全体で 7,133 円である。

支出は、容器包装リサイクル協会への再商品化業務委託費が、34,960 円である。環境センター内で分別作業を実施する経費は計算できないため含まれていない。

収支は、9,188 円のマイナスである。

最後に、市内34箇所にある古紙回収ステーションの新聞、雑誌、ダンボールの排出量は、湖西 A 地区では、約 157 トン、湖西 B 地区では、205 トン、新居地区では、93 トンである。支出はないので、売却のみである。売却額は、湖西 A 地区は、330,099 円、湖西 B 地区は、431,046 円、新居地区は、195,825 円である。

○浜松市への可燃ごみの搬入量と処理委託額の状況 (資料 3)

続いて、資料 3 は、浜松市への可燃ごみの搬入量と処理委託額の状況である。

平成23年度より湖西地区と新居地区のすべてを、浜松市へ焼却処理を委託している。

平成23年度は、家庭系と事業系を含めて 14,303.86 トンで、浜松市の実質委託額は、293,229,130 円である。

平成24年度は、13,754.84 トンで実質委託額は、281,974,220 円で、平成23年度と比べて、11,254,910 円の減額になった。

平成25年度は、13,734.21 トンで実質委託額は、281,551,305 円で、平成24年度と比べて、僅かであるが、422,916 円の減額になった。

可燃ごみ量の減少が少ない理由は、ごみの分別方法が変わったことが、一番の理由であり、硬いプラスチックは、平成24年度までは、不燃ごみであったが、平成25年度より可燃ごみに分別変更したためである。

この表には、出ていないが平成26年度 7 月末の状況としては、4,571 トンであるが、前年同期は、4,818 トンであり、7 月末現在で 247 トンと大幅に減少しており、率としては、5 %程度の減少である。今後、もっと減少させたいと考えていますので、委員の皆様、よい案を審議のときに、提案していただけますようよろしく、お願いしたい。

○使用済小型家電リサイクル拠点回収事業概要 (資料4)

資料4をお願いしたい。

これは、新しい事業で、使用済小型家電リサイクル拠点回収事業概要である。

携帯電話、ラジオ、ステレオ、カメラ、ゲーム機などの小型家電は、現在、不燃ごみとして排出されており、回収された不燃ごみは、環境センターで破砕して、金属を取り出して、売却している。

パソコン関係は、現在、市では回収していないので、市民が排出する場合は、製造メーカーやパソコン3R推進協会へ問い合わせしていただくようになっている。

今回、高品位の使用済小型家電の内、携帯電話やスマートフォン、PHS電話、パソコンやタブレット端末の回収を計画している。デスクトップパソコンは、回収ボックスに入らないので、環境センターに持ち込んでいただければ、無料で受け取る。

回収方法は、市内8箇所の公共施設に回収ボックスを設置して、市民の方にボックスに直接投入していただく。

回収ボックス等には、費用がかかるが、国の平成26年度小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業に応募し、採択されたので、国からの費用で実施する。

平成27年1月頃からの回収を計画している。

市民の多くは、使用しなくなった携帯電話やパソコンがたくさんあると思うので、多くの市民が利用されると思う。今後、広報紙等で細かい内容をお知らせしていきたいと思う。

○古紙・古布回収拠点の状況 (資料5)

続きまして、資料5をお願いしたい。

古紙・古布回収拠点の状況である。

どんなものか、分からない人がいると思うので、資料を回覧している。

湖西市内には、いつでも出せる古紙回収拠点と古布回収拠点がある。

古紙回収拠点は、旧新居町役場の新居支所、新所原の東海道線沿いにある西部公民館、天竜浜名湖線の知波田駅の北にある知波田多目的センターの3箇所にある。市が民間会社に委託して、緑色のコンテナを置いている。経費は全くかからず、古紙の売却収入として、1キログラムあたり2円で売っている。

平成25年度の場合には、3箇所の合計で、約548トンで1,150,307円の売却収入があった。

古布回収拠点は、新居支所と知波田多目的センターの2箇所ある。これもまた、

市が民間会社に委託して、コンテナを置いている。経費は全くかからず、古布の売却収入として、1キログラムあたり3円で売っている。

平成 25年度は、上記の2箇所以外に市役所で実施した出張回収がある。

平成 25年度の場合は、約55トンで174,019円の売却収入があった。

また、8月30日の土曜日に、市役所で出張回収を実施し、35件があり、590kgを回収した。

○古紙回収ステーション別の状況 (資料6)

続いて、資料6をみる。

平成 25年度の古紙回収ステーション別の状況である。

古紙回収拠点は、大きなものであるが、今写真が回りますが、小さな古紙回収ステーションである。

現在、湖西地区には、25箇所、新居地区は、9箇所の計34箇所がある。

平成 25年度の場合は、33箇所があった。

回収量が1番多いのは、表鷺津の風の宮神社西にある場所で、約50トン进行回収し、105,000円の収入がありました。

2番目は、鷺津のコミュニティ防災センターの東にある場所で、約34トン进行回収し、71,000円の収入があった。

3番目は、入出の集落センターにある場所で、約33トン、70,000円の収入があった。

市内全域では、約456トン、957,000円の収入があった。

古紙回収拠点と古紙回収ステーションの合計は、回収量は、1,003トンで、売り上げとしては、2,107,000円の売却収入があった。

現在、古紙回収ステーションは、34箇所であるが、場所さえあれば、増やすことは可能なので、設置が可能であれば、自治会経由で、ごみ減量課まで申し出ていただくように、よろしくお願いしたい。

○雑がみ回収袋の作り方 (資料7)

続きまして、資料7である。

雑がみ回収袋の作り方である。

雑がみとは、紙箱、お菓子の箱、包装紙、ハガキ、封筒などで、ひもで縛ることができない紙であり、紙袋に入れていただき、出していただいている。公共施設で配付している雑がみ回収袋、市役所の市民ホールに置いてある。あと、デパート等の紙袋で出していただいてもかまわないが、お店でくれる紙袋が減っているので、このような「雑がみ回収袋の作り方」を作成した。この作成方法は、いら

なくなった平成 25年度のごみカレンダーで作成したので参考にしてほしい。市のホームページでも掲載してあるので、作っていただくようお願いする。

4 議事

(1) ごみ問題に対する市民の意識改革とごみ減量の推進について	
会 長	事務局の方で資料 1 から資料 7 まで一括、説明をいただいた。そういうことを含めて、質問をいただいていいか。（事務局了承） 今日の議事が、(1) のごみ問題に対する市民の意識改革とごみ減量の推進についてと、自治会交付金と、生ごみ減量の推進の 3 つがあるが、議事の 1 番のごみ問題に対する市民の意識改革とごみ減量の推進について意見を聞きたい。今の説明の流れの中で、それぞれの意見がございましたら、お聞きしたいと思う。いかがか。
委 員	質問だが、資料 1 番について。平成23年から平成25年にかけて減っている。一番の要因とは何か。
事務局	ごみ減量を推進して、浜松市への焼却を減らそうと取り組んでいる。いろいろごみ減量の施策を実施した成果だと思う。分別方法が変わったこともあるし、生ごみ減量とかいろいろやった成果だと思っている。
委 員	生ごみ減量か。
事務局	ごみ減量である。
委 員	意識が上がったと考えて良いか。
事務局	良いと思う。数値が上がっているため。分別で古紙・古布回収を始めたのが大きい。雑がみの回収も大きい。可燃ごみが特に減っている。
会 長	とりあえず、よろしいか。
委 員	草とか、あれって、前は燃えるごみであったと思うが。あれも、すごく大きいかなと思うが。
事務局	すごく、大きい。
委 員	ありがとうございました。
会 長	他にどうか。どんなことでも結構。お気づきの点がありましたらお願いしたい。はいどうぞ。

委 員	座ったままで良いか。
会 長	座ったままで良い。
委 員	湖新楽交流会は、ごみ減量に関するアンケートを独自で作って、調査してみたが、会員が20名いて、アンケートに答えていただき、資料がなくて申し訳ないが、答えてくれたのが8名で、全部女性ですが、ごみの分別を徹底しているかの質問に対して、トイレットペーパーとかお菓子の紙を分別しているかの質問なんです、はいと答えた方が、5名で、いいえと答えた方が、3名で、いいえと答えた方が、38%になるが、紙ごみの分別というのをもっと徹底してやれば、いいのかな、効果が現れることが分かった。 ごみ出しの分別は誰が行っているかの質問に対して、5人の方が自分だと答えた。女性が割とアンケートの中だが、女性がごみの分別を中心にしていることが多くて、アプローチとして、女性にもごみの分別を多く知ってもらうように、動きをするといいいのではないかということがわかった。 生ごみの処理で知っているものを聞いたところ、キエーロとEMコンポスト、コンポスト、段ボールコンポスト、だっくす食ん太君だが、一番多かったものが、コンポストで8名中7名の方が知っていると答えて、キエーロは5名、EMコンポストは、4名、段ボールコンポストは、4名ということで、みなさん、緑色のコンポストは、生ごみの処理の中では、一番、ご存知ということだった。 その処理方法を実行したかあるかないか聞いてみたが、あると答えた方が、8名中5名、ないと答えた方が、8名中3名で、一番多かったのは、緑色のコンポストだった。段ボールコンポストについては、1名、キエーロも1名、EMコンポストは、ゼロで、だっくす食ん太君もゼロだった。 私は、段ボールコンポストを2年ほどやっているが、あんまり、みなさん、知られていなくて、もっと、知ってもらうと生ごみの処理がいいのかなと思った。少なくするこつを聞いてみたが、生ごみの水切りを徹底するとか、過剰包装を少なくするように社会に働きかけるとか、生ごみの処理を家庭で行うというのが、生ごみを少なくする工夫と言われた。 後、もう1つ、布、おむつとか、結構重いと思うが、おむつを

	布にするとか、紙でできているものの使用を進めることで、重さが大分減るのではないかとということで、子育て世代お母さん方に、ごみ減量に対する意識を持ってもらうためにも、おむつの働きかけもいいのではないかなと思った。
会 長	今日は、口頭で説明をいただいたが、次回は、どうですか、事務局の方で資料として頂いて、お分けいただくとかどうか。折角、貴重な情報、やはり、女性が頑張っている姿が見えてくる。
委 員	そうですね。8名中5名が、分別は誰が行っているかの、自分と答えている。女性がごみの分別には、多く携わっているのではないかなと思う。
会 長	逆に男の人は、「もっと頑張って」ということですかね。ありがとうございます。後で、生ごみ減量のこと出てくるので、そのとき、だっくす食ん太君の事も聞いてみたい。
委 員	知っていると答えた方は、2名である。
会 長	資料をお配りしたら、生ごみのところでもう一度聞くかもしれない。豊田委員ありがとうございます。他にどうか。 どんなことでも結構です。なにか意見があったらお願いしたい。
委 員	私、表鷺津の地区でごみ出しをやっている。この間も外国から来て会社の寮に入っている。どういう所に働きに行っているか分からないが、たまたま、一緒になった。リサイクルの物を持ってきたが、いろいろなものが、ごちゃごちゃに入っている感じで。さあ、ここに開けてみようと言って開けちゃった。それはこっちだよ、これはこっちだよ。これは汚いから燃えるごみだよ、持って帰りなさいと言った。相当、徹底してやってもらわないと、寮でやるか、会社でやるか、結構人数来ているので。
会 長	それは、外国人の方の社員寮か。
委 員	社員寮、富士機工のアパート。ほうぼう、実習生みたいにいろいろなところに行っているのではないか。
委 員	派遣会社の借り上げではないか。
委 員	そのため、一つの所だけではだめである。たまたま、一緒になれば、こういうふうにできる。汚い缶詰めの缶、汚れたままで、それも缶の中に入れようとする。これはだめだよ、持って帰ってもらった。そういうふうに、見てやると良い。どこでどうやって教えるか分からないけど、一部屋に一枚ずつ貼ってあるとは思え

	ない。 折角、持ってきてくれるんだから、リサイクルしてほしい。
委 員	自治会に入っていないため困る。
委 員	ステーション看板等は、日本語だけではなく、ポルトガル語で説明を書いて貼ってほしい。下に訳がついているが、やっぱり分かりにくい。きっちり訳したものでない。
会 長	事務局の方で、指導いただけると思うが、外国人の皆様に対して、理解度を上げていくことが必要である。
事務局	ごみカレンダーは、ポルトガル語で作成している。講習会は、やりたいと思っているが、なかなか、チャンスがない。どんどん出向いて行きたいと思う。よろしく願いしたい。
委 員	私たち、講習会は、すごく便利で分かりやすかった。これは、こうだよと見ながらやってくれた。
事務局	外国人の説明会をやりたいが、なかなかお呼びがかからない。是非、機会があったら行きたいと思う。
委 員	ちょっと余分なことかもしれないが、今言っている人は、ベトナムの人なんだね。結構ベトナムの人が寮にいる。ベトナム語でないと通じない。書いて出したからでは、具合が悪いと思う。湖西市には、30カ国の人住んでいる。30カ国で説明しようと思っても説明はできない。ちょっと、委員がやってくれたように、ちょっと声を掛けて、面倒みてやるそういう人がいれば、良くなると思う。やってほしい。
委 員	会えば、やりたいと思う。
委 員	急に、ぱっと良くなるわけではないが。
事務局	その関連だが、実は商工会の方から依頼を受けて、毎年、インドネシアの実習生の方に、ごみの出し方、ごみって分別しないとイケないんだよのところから説明をさせていただく。 3年間で研修期間が終了となる。2年目3年目の先輩が、1年目の方に教えてあげる。共同生活をしているそうで、そういうことをやっていたところで、毎年毎年、新しい方にごみ出しの説明をこちらから出向いて、訓練センターで行っている。こういう場を設けていただくとありがたいが、先ほど、委員がおっしゃられたように職員がこういった場にも出向くのは、もちろん、できる

	ので、少しでも、機会があったら、とりあえず、呼んでみてほしい。職員を、少しの時間でもできるので、みなさん、お時間がありそうだったら、ご連絡をください。
会 長	市の職員にの方々、よろしくお願いします。
委 員	すいません、えーと、今、自分は資源物の回収をしている所で委員をしている。実は、回覧版を見ている日本人じゃない人ではないかなあ、いろいろなものを出してくる。たぶん、通知が出ないと思う。たまたま、いただいたんだが、近くにこういう表示が貼ってあって、調べてとごみ減量課の人をお願いをしてね、結構強い言葉で、資源物以外は出すなとか、出すと罰則ですよとの内容のものが3カ国後で書いてある。ホルトガル語、スペイン語、英語で。こういうもの、やっぱり、わからないじゃないかなあと気がしてならない。意味は、ごみが出たけれど、なんか、あそこに持っていけみたいな感じかと思っている。この辺も、何か手を打たないといけないと思っている。なかなか、話をする機会がない。持ってくれば、お話をさせていただくんだけど、なかなか会えないし、とりあえず。
委 員	表鷺津に貼ってあったものか。
委 員	そうだ。富士機工の前というか、防災センターの角に貼ってあった。それ以外は、貼っていない。日本語表示は全くない。これが2箇所位貼ってあったから、何が書いてあるのか。わりときれいになっているため、おかしいなあと思っていた。調べてとメールで送って、調べて、こちらで作っているみたい。
会 長	市が作ったのか。
事務局	多分、要望があったため、市が作ったと思う。
委 員	これを貼ったら。どういう意味か分かってもらうかもしれない。いろいろな資源ごみとごみステーションとか、いろいろな表示があると思うが、ぼくが見ているといろいろな表示があるんです。 いま一番良いと思われる表示をよくみんなで考えていただいて、ごみ減量課の人にも考えていただけるなら、どういう表示をすれば伝わるか、まず、書いたもので伝わるが大事なかなあと思っている。その辺、どうなんかな。標準とかあるのか。

事務局	いままでのやり方でずっとやっており、その都度、こっちの方が良いのではないかと研究しながら作り直している。
委 員	声を出した人は自治会の人が出しているはずなんで、困っているため作ってねと、自治会を通じて話をしていると思う。舌足らずのことはあると思うが、その時期で思うことが違うかもしれないので、そういう大元の分別の仕方が分かるようにしてやらないと、いつまでも、そういう訳の分からない看板が出るようになると思う。
会 長	湖西市だけではなくて、外国人の方が多い市町は、この辺は、大きなテーマである。だめというたげではなくて、どういうふうにしたら良いという部分まで、ちゃんと、教えてあげるしくみのあり方について、会社側に関わっていただくことは難しいですかね、
委 員	いいんじゃない。だけど、会社は、会社の人に聞くと、語弊があるかもしれないが、会社が雇っている人は、日本語がわかる外国人を雇っていると言われる会社の人がいた。確かにそうだよね、派遣会社の人日本語がわかる外国人だから使ってねと会社に渡せば、会社は分かる人が来ていると前提になるわけ。だけど、生活していく中では、細かいところまで、なかなかわからないというのが現状で、いろいろとトラブルが起きていると思うので、日本人でもトラブルが起きているわけだから、わからない人は、なおのことと考えれば、やっぱり書いて貼るだけではなくて、地道な口で説明するということを繰り返すことが必要であると感じる。
会 長	わかりました。皆さんの意見として、事務局は、今後の対応策について、更なる研究をするということにさせていただく。よろしくをお願いします。みなさん方も、アドバイスとかご協力をお願いします。他にいかがか。どんなことでも結構。今、事務局の方で説明した資料1から資料7にかけての関係、或いは、それに準ずる関係でも結構。お気づきの点、どんなことでも結構。何かあるか。
委 員	やっぱり、私のところのごみステーション、普通の時にごみを出すところが小さい。やっぱり、農協住宅というのがあり、軒数は結構ある。その中で、1軒若い男の子が、今から豊田へ引っ越すという。ごみをここに置いて行くという。私たち月曜日と木曜

	日と出す所へ、ごみをここに置いていったら、他の私たちが出すところがなくなっちゃうよ。今、市へ持っていけば、ただで良い。今は有料ですが、その前だった。市でただで持ち込めばやってくれる。車があったら持ち込んでって説明した。ここに置かれると、私たち、今後、月曜日にごみを出せれなくなってしまうと言ったら持って行ってくれた。お部屋もきれいにしてもらったみたいである。そうやって、話せば、そこで会えば、何とかなるということがある。
会 長	今のお話は、市民としては、ごく基本的な義務の話だけれども、なかなか、これもやっていただけない方が多い。
委 員	突然、会ったんじゃないが、私、たまに他のことで、調査の対象になっていたことがあって、顔を知っていたから、そこまで言えた。初めて、会った人には、なかなか、どこまで言えるかなと思う。
会 長	分かりました。ありがとうございます。そういうこともあったというご紹介である。他にどうか。どんなことでも結構。
委 員	そしたらすいません。会社の立場ではなくて、他の自治体の情報があったので、紹介を。私、実家が田原市です、愛知県の。広報の中にやはり同じようにごみ減量、こういう取り組みをしているとの紹介があった。後で回してくれればいいが、着ぐるみのなんかレンジャーというようなそんなチームを組んで、それで、この記事の中では、保育園を回っていると。あえて、行政の中から踏み込んで、そういう教育をやっているという紹介が、あったので、こちらで、やれというわけでないが、やっぱり子どもの教育って、後々の影響が大きいと思う。子どもは、すごく素直に話を聞いてくれるし、家に帰って親に話してくれる。おじいさん、おばあさんて、絶対、孫の言うことを聞いてくれよね、とても、いいルートではないかと思ったので、紹介をさせていただく。
会 長	ありがとうございます。お話のように、貼紙をつけるのではなくて、こうしたビジュアル化の話だったので、この辺も、参考にさせていただきながら、研究をしていただければ有難いと思う。ありがとうございます。他はどうか。
委 員	道路にごみとか、空き缶とかの清掃を1年に1回しかやっていないが、前と比べると、ものすごく少なくなっている。

	他のところへ行くと、今だに、そのままビニール袋にいろいろな物をいれて、そのまま、ぼんと、家のあるところは、ほとんどしていないが、家が建っていない、外れたところには、土手とか田んぼ道とか、農道に近いようなところは、大部、捨てられていたが、最近もう何年か、段々減ってきて、ほとんど、そのごみを捨てる人は、少なくなっている。 ただ、先ほど、そういう形では、みなさん、きちんと、だんだん良くなっている事は言える。先ほど、外人がいろいろとでたが、絶対数からいうと、地域によって違うかもしれないが、そんなに、外国人は、言葉がわからない人は、そんなに多くいない地域もあり、だから、前から住んでいる人は、ほとんど日本語も使えるし、そういうこともだんだん慣れきちっとやられるが、なにせ、一人暮らしの若い独身貴族ではないが、そういうアパートの近くの方がらんごくない。日本人でも決して、外人におとらず、やっぱり、配付物を回してもほとんど読まない。ある家庭を持って家族的に住んでいる方は、見るが、一人暮らしとアパートとか借り上げて入っている人は、配付物が、すべて回るか回らないかわからないが、必ずしも見るのではない。 もう1つ、老人の立場から言うと、結局、老人世帯が多くなったので、やっぱり書いたものは、年寄りには、なかなか、細かくて見ないというか、読むことが少ないから、また、機会があるごとに、こういう所に来て、たとえ少人数でも、見学をしながら説明を受けるとか、そういうことを、直接聞いて覚えるとか、配付物を配っていいというものではない。いろいろなことをやっていかないと、ごみ減量というのは、なかなか難しいというか、はっきり言うとその人のマナーということか、資質の問題であるが、あんまり、若い人には、言ってはいけないが、だんだん質の問題からいうと、物を捨てるとか、無駄に使うとか、そういうのが多くなっている傾向があるんじゃないが、最初、言ったように全体的には、非常にきれいになっている。ごみを捨てる量が少なくなっているのは事実だと思う。こういういろいろなPRが徹底してきたと思う。
会 長	ごみの出し方或いは分別の必要性等を市民の方に理解していただくか。その辺、もうちょっと研究ですね、湖西市のあり方につ

	いて先ほど他の市の例の紹介いただいたが、問題提起をいただいたということになる。ありがとうございます。 他の自治体でもいろいろと始めているが、小型家電リサイクル法対応で、資料４で説明をいただいたが、小型家電リサイクルを、湖西市の場合は、携帯電話とパソコンをやるということだが、小型家電リサイクル法の意義を含めて、最初のスタートの段階で、しっかりと説明していくことが、必要であると思う。 小型家電リサイクル法が出来たということは、ご存知でしたか。なぜ、湖西市として、こういう回収をパイロット的に始めていくらかを理解していく事が求められる。元々、循環型社会形成推進基本法を基本に、個別法で家電リサイクル法、食品リサイクル法、自動車リサイクル法などがあるが、家電リサイクル法だと、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの４品目の回収責任は、メーカーに定められている。それによって、市役所が粗大ごみとしてこう処理する家電品を少なくしていこうとするねらいがある。テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの４品目は、年間、全国で約 2,000 万台が４品目で排出される。廃家電の 80% を占めるといわれている。その中で、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンに入らない他の小型家電は、実は資源の宝庫であると言われている。レアメタル、レアアースでご存知のように、非常に貴重な金属が、年間 860 億円から 1,000 億円捨てられているんだと。レアメタル等の中国からの輸入も厳しい状況の中で、貴重な金属を再資源化ということが求められている。小型家電リサイクル法の定着は重要なポイントになっている。そういうことも踏まえて、市民の皆様方に理解していただき、市の方で始める使用済小型家電リサイクルの拠点回収事業も、しっかりと説明していただきながら、理解をして頂く事が必要でないか。 また、皆様方委員各位、地域のリーダーとしての役割をお願いしたい。 はい、ありがとうございます。事務局の方で説明していただいた、湖西市の状況については、こんな感じで良いか。
事務局守田	良い。

(2)ごみステーション等に係る自治会交付金について (資料8)	
会 長	今日の2番目のテーマである自治会の交付金についてということで、ごみステーション等自治会交付金、資料8に基づいて説明をお願いします。
事務局	資料8をお願いしたい。 ごみステーション等に係る自治会交付金についてである。 ごみステーションや資源物回収拠点は、約950箇所程度あるが両方とも地元の自治会が管理していただいている。市で平成26年度までは、助成金や交付金を支払っており、今年度で終了する。 今まで2段階の制度があり、平成24年度までは、湖西地区のみに交付した「ごみやらまいか推進事業自治会助成金」で、平成25年度と26年度は、湖西地区と新居地区の両方に交付した「ごみステーション等に係る自治会交付金」がある。 1番のごみやらまいか推進事業自治会助成金についてであるが、平成24年度までは湖西地区のみに交付したもので、まず、自治会でごみステーションや資源物回収拠点の維持管理員を決定していただき、監視、出し方の指導、清掃等を実施していただくために交付した。この内容としては、ごみステーションの維持管理に対して支払った「ごみステーション維持管理員助成金」は、1箇所につき、年間1万円を自治会に交付した。 資源物回収拠点の維持管理に対して30の自治会に対して、均等割、世帯数割、拠点数割で計算して、3,000,000円の予算内で按分して交付していた。 2番目のごみステーション等に係る自治会交付金についてである。平成25年度と26年度に湖西地区と新居地区の両方に交付したものであり、自治会でごみステーションや資源物回収拠点の維持管理をしていただくために自治会に交付した。 平成25年度は、湖西地区の場合は、平成24年度に交付した「ごみやらまいか推進事業自治会助成金」の70%を自治会に交付した。 新居地区の場合は、予算7,980,000円から湖西地区への交付分を引いた額を自治会に交付した。平成26年度は、湖西地区と新居地区とも平成25年度の半額を各自治会へ交付した。 これで、自治会への交付は、終了し、平成27年度は、自治会へは維持管理のための交付金は、一切ない。

	裏面をお願いする。 3 番目のごみやらまいか推進事業自治会助成金の廃止理由、4 番目の自治会交付金の制定、5 番目の自治会交付金の経過措置についてである。 ごみやらまいか推進事業自治会助成金の廃止理由は、1 点目として、この助成金は、対象が湖西地区のみであったため、市内制度の統一が必要であったこと。 2 点目として、ごみステーションや資源物回収拠点は、地元のものであり、地元の環境美化のため、市からの助成金の有無に関わらず、自治会で管理するものであること。 3 点目として、平成24年 1 月28日開催の外部評価において、抜本見直しや廃止の意見が多かった。 以上により、平成24年 7 月に廃止と決定した。しかし、直ぐには廃止できないため、経過措置として、平成25年度と26年度で金額を 70%、35% と減額することに決定し、名称も、「ごみステーション等に係る自治会交付金」として、湖西地区と新居地区の両方に交付し終了となった。 6 番目のごみステーション等の維持管理の問題点としては、1 点目として、維持管理員に交付金を支払っていたが、多くの自治会では、維持管理を地区によっては、全く管理されていない箇所があったり、すごく一生懸命やっているところが見られた。 2 点目として市から交付金を支払っていたため、市から維持管理をやらされているとの感覚の市民がおり、自分の地域の拠点との意識が少なかった。 3 点目としてごみステーションや資源物回収拠点は、市の土地や民地を借用している。民地の場合には、自治会が地代を地主に支払って借用している箇所がある。 7 番目の議案として提案した理由としては、 1 点目として市の監査委員より指摘があり、自治会交付金のあり方について検討することが必要であるとの意見があった。 2 点目としては、市は、ごみステーション等の資材は、提供しているが、借地料を支払っている自治会があり、市としては、負担していないので、これでいいのか。 3 点目として市民の方が、資源物を出しているのであるから売却
--	---

	額の一部を地域に還元した方が良いのではないかと意見があった。 ごみステーション等にかかる自治会交付金は、平成26年度で終了し、平成27年度は、無しになるので、これで良いか、何か他の案を考える必要があるか、みなさんの意見を聞かせていただいて、予算の時期もあるので、どういう方向で進めていいのか、教えていただきたいため、ご審議をお願いします。
会 長	ということで、お分かりいただけましたね。交付金をやめてしまったが、それでいいのか。来年の予算の時期になっているので、この交付金のことについて、何か別の形で、こうしてもらったらどうかという意見があったら、どうぞ、どんなことでも結構。ご意見が出なかったらそのままになってしまうということですね。
事務局	はい。
会 長	どうですか。
委 員	すいません。外部評価は抜本見直しや廃止というお話が書いてあるが、他地区とか、他のところは、こういったものはどうですか、こういった内容のものって、ほとんどないということか。
事務局	最近、無くなる傾向である。
委 員	浜松市とか、どうか。
事務局	ない。
会 長	どうですかね、その辺は、みなさんの率直な意見をお願いします。
委 員	ごみステーションは、大きい所と小さい所がバラバラなので、一括していればよいが、小さい所は、地域で任すとか、大きい所は、区に任すとか思うが、湖西の場合は、バラバラなので、それで、小さな所は、地域の町内会長に任して、交付金をもらった人は、お手伝いした人に払うとかのやり方をやっていると思うが、だから、ステーションの大きさによって違うため難しい。 小さな所でやっている所は、多少、そういうような所は、管理費を出して、大きな所は、ごみ箱のやつを持っていく大きいごみステーションは、小さな所は、かごに全部入れていくため、小さなごみが溜まります。毎回毎回、きれいにするためちゃんと掃除をしないとイケない。手間がある。どういうものか。
会 長	ごみステーションは、大きな所と小さな所があって、小さい所は、いろいろと二度手間的な作業もあるんで、手間がかかってい

	るじゃないかとのこと指摘があった。
事務局	大きい所と小さな所と差があるのかわからないが、みなさん手間は、一緒であると思う。市では、なるべくごみステーションを小さくしていただくようにしていただいている。 大きなステーションは、多くの人が捨てに来るため、余計にマナーが悪い。南上の原では、大きなごみステーションがあり、3分割して、なるべく、ひっそりした所に設置した。
委員	自治会で助成金をやっているのなら、そういう人の意見を聞かないと、我々、外から見ると金の問題と管理の問題と、町内で見ますと、ごみステーションは、前は、沢山あったんですが、要するに家のない所は、他の人が来る車で来て、投げて捨てていく。そういうのは、全部止めまして、なるべく、住宅というか、家の人が見える所に持ってきて、数を減らしたとか、実際は、ぼくらの所は、籠も何にもなしで、道路の脇へネットで、被せるだけで、きちんとやるもので、全然、その掃除をやるだけで、当番で1年中順番で回っている。他に実際に一銭もかからない。ボランティアの地域もありますので、全部、バラバラであると思うんですね。やはり、それを精査しない、我々がこういうのが、廃止でいいでしょうとなかなか言えない。管理している人の代表の方の意見を聞かないといけない。
会長	地区のお立場でコメントしていただけることがありますか。
委員	私は、新居地区の出身だもので、新居地区は、昔から一銭も貰っていなかった。今度、去年と今年ですか。あれが来たもので、これは何だということになった。そういうことで、何も考えていない。ごみステーションも湖西地区みたいに、箱ではなくて、全部、ネットでやっているの、ただ、入れて行く。資源ごみは、ポリ袋を火曜日と木曜日に置いていくので、その籠を変えていくだけだから、あまり考えていない。掃除は、だいたい、当番制とか好きな人がやっている。好きな人と言っては悪いが、やってくれる人がいて、その人が大体やっている。
会長	まさに、そういうことですね。お隣の湖西の方。
委員	私は、湖西の方で、昔から沢山貰っている。それが、削られるのは、ちょっと、何かさびしい部分もあるし、但し、問題点として、ここにも書いてある通り、手当てを出すのだが、渡しても一

	切、手を出さない人が結構いるわけで、貰っても一切やらない人もいる。１年間続けてやったのは、見たこと無いよねということがある。ここの所が、不公平感があるし、逆にやってくれる人は、物凄く丁寧にやってくれている。ありがたいという思いもある。私の中では、自分たちのごみ箱であるという反面、私らの地域は、川尻ですので、大勢の方が通る場所がある。ごみステーション、資源ごみの場所が、隠そうかという思いがある。大通りから一歩下がった所に、その土地どうやって借りれるという話になってくる。誰でも、喜んで出してくれる人はまずいないので。そういう悩みを抱えている。
会 長	場所の確保ですね。
委 員	民有地を借りるということにあっても。
会 長	そうすると、お金がかかる。
委 員	むしろ、汚れるという意識があるものだから、そういう意識があるため、気持ちよく貸してあげるという人は、中々出てこない。
会 長	交付金のことはどうですか。
委 員	これには、とやかく言わない。
会 長	これはこれで、割り切って。
委 員	良きに計らえと思うが。
会 長	そういう感じですか。
委 員	自治会の方でもやったのだが、もうだめならしょうがないという考え方しか思っていない。理事が、12、13名いるが、話の中で、なくなったら、しょうがないと思っている。それよりも、私有地を借りた場合、民有地を借りた場合どうしようか。自分の所の金を出さなくなってくるから。
会 長	そこですね。
委 員	そういう部分が、１つネックになっている。まあ、無料で貸してくれる所はいいが、金を払っている所は、それだけ、問題が残っていると思う。
委 員	たとえば、何かそういう部分を手数料として、何か考えてもいい。検討としては。
事務局	案としては、いろいろな意見を聞いたかったということである。
会 長	そういうご意見が出たということを一応、頂いて。
委 員	自治会として、考えていることは、そういうお金の話よりも、

	むしろ、場所というより、ルール守りの方が頭が痛い。そんな訳で今回、監視カメラを付けてもらっているが、ルールを守らないという話がいろいろと出ていたけど。
会 長	先ほどの1号議案の中で出たルールのことですね。
委 員	私らのごみステーション、資源物回収拠点は、大通りから結構見える。大通りのすぐ脇という箇所が結構多いので、他の地域を見るとこんな所にあるのという、大通りから見えない場所にある。地域の人のみ良く知っているが、地域以外の人には、わからないような場所の方が、より管理しやすいのかなと思いがあふ。どうなんでしょうか。
会 長	湖西の場合は、もうちょっと、市民の皆様が、ごみ分別に対する意識を上げていかなければならないと思う。藤枝市あたりだと、相当、分別が結構徹底していて、市民の責任としての位置づけ、申し訳ないけど、湖西よりちょっと、もう1ランク上にあるかと思う。ごめんなさい、気にしないで、そういう感じがする。 その辺のこういう市民意識の底上げというのは、湖西市としては、テーマかもしれない。この市民会議で、どういうふうに、みなさんが意識を上げていくか。どうでしょう、その辺を含めて。
委 員	マックスバリュから漁協の方に通る歩道が大分、広いですよ、私、確認はしたことないが、ごみステーションの場所を動かしているのですね。一週間交代か分からないけど、家の横にネットを動かしていく。ネットしかないから、そうするとみんなきれいにしているんじゃないかな。そんな感じでごみを持っていただければ、ネットをたたんでしまう。そうするとその次の所に動いているような感じである。だから、ああすると、みんなごみを置くのはいやですよ。でも近い所がいい感じのごみステーションだから、同じ時期に入った人たち、同じような感じの人たちが暮らしているから、大きさも、あれも面白いなあと思った。そうすると、みんなきれいにして出す。そして、あんまり時間も早く出さない。ほんとうに、みんなが通る所である。車もたくさん通る、歩道が結構広くとってあった、自転車も通れる道路になっているから、ちょっと、家についた所のどぶ板の上位にのつける位の場所があるので、そこに置いている。少しずつ移動させている。そんなところもある。

会 長	わかりました。この交付金のことについては、いろいろと現場で管理されている、お二人の自治会連合会の方の、今の現時点での意見は、まあ、しょうがないかなと。
委 員	全体の意見として、とらえられると困るね。
会 長	了解、すいません。ただ、それよりも、もっと問題があって、場所の確保、そこが、もし民有地だったら、お金を払わなければいけないとか、マナーの問題、分別のあり方、この辺がまだまだ、すっきりしないんだというお話をいただいた。まだ、何かありますか。
委 員	明日、また、理事会があるのでみんなに聞いてみるが、どうした方がいいのか。この前出ているので、あまり金額のことを充てにしていないから。
会 長	元々なかったから。
委 員	新居地区の場合はね、湖西地区は、いままで、あったものがなくなっていくので、心配をしている。
会 長	じゃあ、委員の方で持ち帰っていただいて。
委 員	借地料が高い所もあるみたいだから、場所に寄りけりで。
会 長	また、自治会さんというお話をいただくということは、市の方はどうなのか。
事務局	もう、無い。
会 長	もし、必要であれば、10月20日にまた、市民会議がある。
委 員	その前に、報告を出す。
会 長	わかりました。
委 員	減額に関して、去年今年も減っているので、覚悟が出来ている。
会 長	そんなことで、抱えている問題点の話も出た。さあ、次の3番目に行く。

(3) 生ごみ減量の推進について	
生ごみ減量の推進状況	(資料9)
生ごみ処理機と生ごみ減量の状況	(資料10)
ベランダでキエーロの作製方法	(資料11)
会 長	生ごみ減量の推進についてということで、先ほど、委員の方からも調査結果の報告もありましたが、事務局の方で、説明を、資料9、

	10、11で。
事務局	生ごみ減量の推進状況についてである。 ごみ減量について取り組んでおり、その半分近くを占める生ごみを何とかしたいということて、各種施策を実施している。 まず、資料9をお願いしたい。 ①の生ごみ減量講習会は、平成22年度から実施しており、生ごみを減量する容器の使い方の説明会を定期的を開催している。 現在、市で作成しているキエーロ、EM密閉型容器、コンポスト、富士市が中心に実施しているだっくす食ん太君の説明会を開催している。 平成24年度は、キエーロが大変に人気があり、年度全体で283名の方が講習会に参加したが、平成25年度は、105名、平成26年度は、8月末現在14名となっており、講習会を開催しても人が集まらない状況になっている。 ②の生ごみ堆肥化容器等購入費補助金の状況は、堆肥化容器や電気式処理機を購入すると購入金額の2分の1以内で20,000円を限度に市から補助金を交付している。平成24年度は、66基、平成25年度は、46基となっている。キエーロを市より無料で配付した影響で減少していると思われる。 ③の生ごみ処理機の状況は、先ほどの補助金とキエーロとダックス食ん太君の合計で平成24年度は、281基、平成25年度は、142基となっており、全体的に減少傾向であり、今後、生ごみ減量に取り組む多くの市民を増やしたいと考えてる。 ④のイベントは、ごみ減量課で参加しているイベントを多くしたいということで、平成25年度ぐらいから、春の緑花フェア、秋の緑花フェア、Kトラ祭りとか、国際交流協会のワールドパーティ、自治会イベント、先ほどの委員のイベントだが、そういうのに参加している。 ⑤は、生ごみ減量コーナーについて、⑥は広報の状況である。 2の今後の予定は、湖西秋の緑花フェアへ、今年の9月28日に参加を予定している。国際交流協会主催の参加も予定している。一般市民の方で、生ごみ処理の相談会を自らやっていただいて、新居町でやっているのも、もし、良ければ参加していただくようお願いする。 続いて、資料10をお願いしたい。生ごみ処理機と生ごみ減量の

	状況である。 上の表は、市で把握している生ごみ処理機で、どの位の生ごみ量が減り、焼却委託額が減るかの表である。平成25年度の場合は、142基で1世帯あたり生ごみが200kg発生した場合、28.4トンの生ごみ処理をして、委託する額は、582,200円が減る。 下の表は、平成16年度から平成25年度の堆肥化容器補助金、キューロ等が、現在も稼働していると仮定しており、市内で997基であり、199.4トンの生ごみが発生していると仮定している。生ごみ処理を委託する額は、4,087,700円が減っているということになっていた。湖西市全体の生ごみ発生量の4.54%になる。 市としまして、生ごみ減量に取り組んでいただける市民を増やしたい、このパーセントを少しでも増やしたいということで、審議の方をお願いする。 最後に、資料11をお願いしたい。生ごみ消滅容器「ベランダでキューロ」の作成方法である。 これは、私が手作りで、自宅で実践しているベランダでキューロである。土に置くキューロは、環境センターで市民に無料で配布しているが、このベランダでキューロは、お金がかかるため、市では配付していない。これは、作製方法の図面を作った。市のホームページにアップしているので、もし、良かったら作る場合には参考にさせていただけるようお願いする。 以上、生ごみ減量に関することを説明した。生ごみをもっともっと減らすことは、可能である。市としても、今後も、各種施策を実施していきたいと思うが、市民への普及がなかなか進まないため、知恵を出していただいて、もっとごみ減量、生ごみ減量をしたいと思うので、審議をお願いする。
会 長	生ごみの占める割合は結構大きい。結局、それが処理コストとして跳ね返っているので、少しでも市民参加型で、生ごみを減らしていくことが必要である。そのため、知恵をいろいろこの場で提案していただけると有難い。それで、委員、先ほど口頭説明で分かりにくかったので、特に生ごみのところに特化して、こんなことが浮き彫りになったということを、アンケートの説明をお願いする。
委 員	口頭で分かりにくくてすいません。アンケートは、湖新楽交流会の会員たちを対象に、20人に配布して、8枚回収した。その中で、

	日本人の方もいるし、フィリピンとか、外国の方も回答していただいている。アンケートだが、ちょっとパーセンテージがわかりませんけどすいません。生ごみの処理は、真ん中の段の下から3番目で、生ごみの処理で知っているもので、知っているものにすべて、チェックしてくださいということだったんだが、キエーロが5、EMコンポストが4、コンポストが7、段ボールコンポストが4、だっくす食ん太君が2、8人に聞いているが、こういう結果になった。その処理を実行したことがあるかという質問に対しては、ある人が5人、無い人が3人であった。やってみた生ごみ処理方法は、キエーロが1、EMコンポストが0、コンポストが3、段ボールコンポストが1ということになった。
会 長	これは、資料10に、非常にリンクしているかもしれないが、市民意識がこんな状況にあるということだが、どうでしょう。生ごみの減量でもいいけど、意見をどうぞ。
委 員	キエーロを勉強してやっている人は、何となく、男性が多いような気がするけど、参加してる、やっている人が男性が多い気がするけど、講習に出ている割合とか。
会 長	どうですか、その辺は。
事務局	実際、男性が多い。もちろん女性もいるし、環境センターに直接取りに来る女性もいる。夫婦で来る人もいるけど、講習会をやると男性が多い。講師が男性だからなのか。僕が、講師をしている。
会 長	意外と作るのに、男手が必要なためではないか。
事務局	容器自体は、市で作製して差し上げているので、なんでなのか、かさばるということがあるんで、容器自体が、横幅1mか1m20cm位あるので、かさばるので、男性が多いのかもしれない。
委 員	土を入れるのに男手がいるかもしれない。
事務局	力が必要なためで、その説明をすると、それで、男性が講習会に奥さんに言われて、出ているかもしれない。比較的、男性が多い。他の講習会と比べると多いと思う。
会 長	なるほど、だったら、男性の方に是非、頑張ってくださいということでもいいと思うが。
委 員	私もキエーロに関係しているものであるが、私らはキエーロを作って配付しているが、配付先では、奥さんが対応してくれるのが、圧倒的に多い。中々、畑に置いておけば、自分でやってくれる人も

	あるし、こういうふうにやるんだよと言って、穴を掘ってやらない人もいる状態なんで、そこまで、面倒を見ないと中々、進まないのかと思いながらやってるけど、いずれにしても、やった結果は、非常に良いという結果はいただいている。臭いも無いし、虫も出ない結果なんで、非常にいい方法だと、各家庭を回っても実感をする。中には、子どもが夏休みの宿題で、土の中に生ごみを入れると消えてなくなるのが不思議だということから、宿題としてやって、子どもは喜んでいるところもあるし、ごみを出しに行く、燃えるごみをステーションまで出しに行く役目はお父さんという家庭もかなりある。お父さんが行く回数が半分になった。重量が半分になったということで、お父さんが喜んでいる家庭も何軒かある。というようなことで、私のところで、80基位を作って、3年間で送り出しているけど、かなり、好評です。使ってください。
会 長	なるほど、どうでしょう、キエーロの話が出ているが、他の方法でなんか、私はやっていますという方がおられましら、ご紹介される方がおられましたら、どうですか、たとえば、EMだったり、だっくす食ん太君であったり、電気式であったり。
委 員	うちは、3つをやっている。コンポストは、畑の方にあって、大きなものが出たもの、キャベツの葉っぱ、それは、そのまま、入れに行く。キエーロは、家のすぐそばにあるから、ちょっと細かくするとか、中に埋める時に、移植ごてで細かくしている。土を掛けると簡単である。後、だっくす食ん太君もここで講習をやっていただいたので、まだ、1年は経たないけど、これは、一生懸命やらないと、とっても大変である。
会 長	手間がかかるか。
委 員	手間というか、臭いが、家に中に置いてもいいんですよ言うが、今は、私のところは、玄関に置いてあるのだが、この位だけれど、削り節は入れない。魚のそういう物を入れると、臭いが、臭いよというんで、虫がわからないように虫除けの薬も買って入れている。EMじゃないけど、きれいにかき混ぜて、細かく、ゴム手袋をしてやるが、今、私が入れているのは、コーヒー粕と、麦茶の粕と、後、茶殻、ちょっとしたもの、そんなきれいなようなものばかり入れている。でも、きれいに消える。
会 長	消滅はするが、間違っただ物を入れてしまうと大変なことになって

	しまう。
委 員	かぼちゃの種は、絶対消えない。残っている。きれいにかき混ぜるのと、水加減が難しい。
会 長	わかりました。いろいろと一長一短が、正直言っていると思うが、市としては、どういう形でも良いから、こういったことにチャレンジしていただきたい。こういうことか。
事務局	はい、そうである。
会 長	生ごみを浜松市へお金を払ってもって行くのを少しでも減らしたいということですよ。どうですか、この辺について、若干、時間をいただいているが、今日、全くお話をいただいている方、どうですか。
委 員	ちょっとよろしいですか。イベントの参加状況だが、すいません、あらいじゃんだが、資料9、私はあらいじゃんを担当してるけど、22年度から出ていないのは、市の方で何かあるか。22年度に出展されて、今年も聞いてはいない。
会 長	あらいじゃんに、23年度以降出ていないのは、何かあるか。
事務局	あらいじゃんとして出たのは、22年度、後は、単年度だけで、共催、緑花フェアと共催でやっていたことが、あると思う。
事務田	あらいじゃんは、秋なので、緑花フェアは、春である。あらいじゃんは、新居地区の文化公園である。湖西市である秋の緑花フェアは、湖西市である。
会 長	もう一度、再登板していただけるように。
委 員	市の商工観光課のブースがあるので、商工会としては、別に出展料を取る訳ではないので、PRしていただけるなら、うちの方は一向に構わないので。
事務局	商工観光課と調整したいと思う。
会 長	貴重な意見をありがとうございました。あらいじゃん、面白い名前ですね。元々あらいじゃんとは、どういう意味か。
委 員	ごみ減量の決め手というか、いろいろと話を聞いてきたが、ごみの半分を占める生ごみかなあと感じがする。なんか、そんな感じがするけど、生ごみを減らすのが、大きな決め手であると感じるが、当たっているか。
事務局	生ごみは、重要であると思う。だけど、これだという方法がない。市民の皆様にやっていただくしかない。

委 員	自分も、ごみに対しては全くの無関心であったが、町内の役をやった関係で、ああいうゲームを作ってみたり、どうやって関心を持っていたかを中心と考えて、私自身が、ごみの分別に詳しくなっちゃった。それに伴って、資料11のベランダでキエーロというのは、実は私も自作してみた。ごみ減量課の方にメールで送ったりしているが、やってみると、やっぱり減るね、消えるというか。
委 員	消えるよ。
委 員	週2回、ごみを出している。女房に聞いたら、1回で済むようになったよと。2回出していたのが、1回で済むようになったよ。そうしたら、野菜くずも大きいと消えない。小さく切ったり、海老や玉ねぎの皮とか、消えないのがある。
委 員	消えなくても良い。たまごの殻でもだんだん無くなってくる。
委 員	小さく砕いてやると良い。
委 員	まあ、しょうがない。燃えるごみで良いと思った。
委 員	カルシウムとなって、養分となるのであるから、大丈夫である。
委 員	これは、消えないからやめた。
委 員	鳥の骨は、なかなか無くならないけど、そのうちに無くなる。鳥の骨を入れる場所を作っておくと良い、一般の所に入れるとちょっと邪魔になるけど、ここに置いておけば大丈夫である。
委 員	まだ、研究が足りないね。チャレンジしてやってみると、生ごみを減らすと、ごみの量が減るとということが、実感できているんで、これを、どうやったら隣近所にできるかと思っている。やっぱり、そういうことかなと思う。減量会議のポイントというのは、やっぱり、いろいろなことがあるが、生ごみをどうして減らしていくか。
委 員	家庭ごみとしては、そういう生ごみを減らすということが、大きなファクターであると思う。企業さんは、ちょっと違うところがあるかもしれないけど、家庭に戻ったら、生ごみを減らすというのが、かなり、大きな成果、自分でできるのだから。
委 員	そうだよ、やろうと思うと自分でできる。
会 長	生ごみ処理というのは、レベルの高い行動である。その前に、紙をしっかり分別するとか、プラスチックを分別するとか、まだ、出来ていないところがある。3つの重要な原則は、生ごみと紙をしっかり分別すること。更に再資源化のプラスチック。このプラスチックも可燃の方に、ぼんぼん入れてしまうと、ごみ量が増えていっ

	てしまう。その辺は容器包装リサイクル法対応で、各自治体さんのテーマになっている。いずれにしても、生ごみの処理で市民の方々にごみ分別をやっていただくため、積極的にどういうふうに、市民意識として、根付かせていくかを、みなさんにそれぞれ意見を承りたいと思う。何となく、キューロが良いという雰囲気である。他の市に行くと、意見が違ふ場合がある。面白い。キューロ推進派でいいんですかね湖西市は。さて、時間も2時間を経過しようとしているので。
委 員	ちょっと、いいですかね、今日すっきりして帰りたいもんで、ちょっと、さっき、市の方のお話の中で、その、市民がみんなで作るもんだからという発言がちょっとあったと思うが、市民がやるには違いないけど、その、やらせるというか、イナーシャをつけるのは、市役所の旗振りであると思う。さっき、いい資料を貰った。こういう、これをやれと言う訳ではないけれど、何かやっぱりきっかけを作るとするのは、市の側からきっかけを作ってもらわないといけない。この場もそうだと思うけど、具体的にみんなの前に出て、具体的に何をするのかというところを、たくさん、資料を貰って、私なりのどういうふうにしたら、みんなにアピールできるかと考えていたが、市役所としても、具体的に一つずつこういうふうなことをやろうよという、その投げ掛けをしてもらわないといけない。市民がやることじゃない、市役所もやる、市民もやるということだと思う。市役所の中で紙はすべて、資源になっているのかどうか。そういうところから、その、私が市役所へ行ってごみ箱を見ると、燃えるごみの方に入っているように気がする。どうですか、そういうところも、減量課として、回ってみて注意して指導をして、市役所の職員から意識を変えて、家庭に戻っても、その気持ちを自分の家庭に持っていく、そんなところを是非、お願いしたいと思う。
会 長	まあ、地域リーダーとして、市が果たす役割のご指摘だと思うが、どうですか。
事務局	わかりました。
委 員	今と同じようなことだが、市民のレベルというか、なるべく、少なくするというのは、選別と分別とか、いろいろあるが、無駄なものを多く買ってきて、捨てるものが多いというのは、そういうのを総合的に含めて、難しい問題である。言うのは簡単だが、実施は難

	しい。その量、我々も、大体のときは、キャベツ 1 個買ってきて、食べない場合は、半分捨ててしまうことがあるが、最近あまり食べないので、切ったやつを少量で買ってくると捨てるものはほとんどない。昔は、野菜を捨てるのは結構あり、食べ物は買ってきて捨てる物というか、衣類から含めてすべてそうだが、そういうものが、日本人というか、他の国に比べると、捨てるものが多いと思う。レベルとってはいけませんが、無駄遣いをしないというのが、我々の育った時代でと、全然違ってきた。言うのは簡単だが、実施は難しいとは思いますが、そういう意思が高い市は、やっぱり、ごみが出ないのではないかと思います。
会 長	結局、委員が、お話をいただいたのは、典型的な 3 R、リデュース、リユース、リサイクルの考え方である。発生した廃棄物をどういう分別するか、どうリサイクルするかという議論が主体だが、その前にリユース、もう一回再利用するよ。その前に発生抑制、もともとごみになる物は、買わないとか、余計な物は買わないとか、過剰包装だとか、マイバックの推進して。レジ袋をやめようとか。 こういう入口のところにもっと研究すべきではないかという話である。3 Rは、まさに原則であり、分別の徹底とか、市民の意識をもうワンランク上げていくとか、湖西市としてやらなければいけないテーマかもしれない。これが、市民会議のまさに役割ということになるわけである。今日は、こういうふうなご意見を受け賜ったということですのでよろしいか。実は、2～3週間前に、静岡新聞の夕刊のトップ記事に、湖西市の古いごみの清掃センターのことが出ていたが、見ていただきましたか。あれを解体するのに、3 億円かかる。でも、ただ、壊すだけでは、国の交付金といって、補助金が出ないので困っている。こういう問題も抱えていて、ここの清掃センターも今は、使っていない。これも最終的には、壊さなくてはならないということが将来的にはある。ダイオキシン類対策特別措置法があって、煙突に一杯、ダイオキシンが付着しているのでブルトザーで壊すようなものではない。学校焼却炉が、そのままになっていたのは、そういう理由がある。 ごみ処理というのは、ほんとにお金がかかる。そういうことで、我々は、ごみを減らして、財政的負担を軽減化していく、そのために、この市民会議の役割がある。何回も言って申し訳ないが、その

	ことで、10月20日に、また、第3回目がある。その辺のことを含めて、今日はよろしいか。全くお話をいただかなかった方はよろしいか、今日の3つの議事を終了した。 みなさん方に、有意義なご意見をいただき、お礼を申し上げます。今日の私の進行役は、終わらせていただく。どうも大変ありがとうございました。では、事務局の方にお返しする。
--	---

5 その他

6 閉会